

専門医が 診る

読者からの質問編

脚の静脈がこぶのように浮き出る下肢静脈瘤(4日掲載)について読者から寄せられた相談や質問に、下肢静脈瘤専門外来の清水クリニック(広島市南区)の石原浩院長に答えてもらった。

(教蓮孝臣)



回答
清水クリニック
石原浩院長

下肢静脈瘤

再発するたびに手術は必要か どこまで治療 医師と相談を

Q 夫は約20年前に両脚の静脈瘤を患って以来、数回の手術を受けてきました。医師からは「今後も別の箇所は次々としてくるだろう。何年かおきに手術が必要」と言われています。完治しないのでしょうか。(大竹市・主婦・49歳)

A 脚には深部静脈と表在静脈(皮膚に近い部分の静脈)、その二つをつなぐ交通枝という種類の違う静脈があります。静脈瘤になつて膨らむのは表在静脈。手術で処置するのも、この表在静脈です。個人差はありますが、手術時には正常だった別の静脈の弁が数年後に壊れ、新たに静脈瘤になることはあり得ることです。

再発するたびに手術するのも一つの方法ですが、すぐに命に関わる病気ではないことも事実です。この程度の状態なら生活に支障がないか。そのためはどこまでの治療を受けるのが適当か。医師とよく相談してください。

手術受けるタイミングは

生活上の不快感基準に

Q 数年前から両膝の裏やふくらはぎの静脈が浮き出始めました。痛みはないのですが、こぶが目立ってきたので、適当なときに手術を受けてみようと思っています。年齢的に、手術を受ける最も良いタイミングがあれば教えてください。(廿日市市・主婦・38歳)

A 年齢は関係ありません。痛みや見た目の悪さで悩んでおられるのであれば、手術を受ける必要はありません。併症が出るまで待つことは避けてください。

Q 手術で静脈を抜いたり焼いたりしてはまったく問題ありません。また、手術を受けるまでの間、いま以上にひどくならないようにする方法はありますか。(広島市中区・パート女性・48歳)

A 脚では、皮膚の近くにある太くさんの細い静脈が、深い部分にある太い静脈に合流し、そこから血液をさらに上部に運びます。静脈瘤になるのは表在静脈です。そのうちの何本かが使えなくなっても、交通枝が深部静脈に血液を運ぶの

手術受けるタイミングは生活上の不快感基準に

症状悪化させない方法は

弾性ストッキングが効果的

手術までの間は弾性ストッキングの着用が効果的です。脚の外側から圧力を与え、血行を促します。ストッキングで根治はできませんが、症状の進行を遅らせることはできます。手術後の再発防止にも役立ちます。

ストッキングは両脚約3千〜4千円。医療機関やドラッグストアなどで買えます。医師に相談し、最適なサイズや強度を選びましょう。

治療費はいくら

片脚当たり約5000円から

Q 左脚の膝裏から足首にかけて静脈瘤がありますが、治療を受けたいのですが、最近はずいぶん返りを起すので、手術を考慮しています。費用はいく

らかかりますか。(広島市西区・男性・72歳)

A 保険適用となつていて、片脚当たりの費用を挙げます。本人負担は3割で出している

レーザー治療は約4万3千円、静脈を抜き取るストリッピング手術は約3万円、接着剤のようものを静脈内に注射する硬化療法は約5千円、静脈の根元を縛る高位結紮術は約1万円が基本です。ストリッピングとレーザーを組み合わせた治療は約3万3千円です。これらは手術そのものにかかる費用。実際の治療では初診料や再診料、手術前の超音波検査、処方薬などの費用が加わります。